

網 領

- われわれは、社会正義に立脚した良識ある労働運動を通じて吾々の権利を守り、生活の安定と向上をはかる。
- われわれは、常に暴力と独裁を排し自由にして明朗なる民主的労働組合としての健全なる発展を期する。
- われわれは、赤十字の民主化と近代化を促進することによって、その人道的任務の達成に寄与する。

日赤新労

2025年
6月19日
発行
第268号

発行所

日本赤十字新労働組合連合会
(日赤新労)
東京都港区芝大門2-7-9 鍋島ビル2F
TEL (03) 3433-3028
FAX (03) 3432-4560
Eメール shinro@shinro.org
ホームページ http://www.shinro.org/
発行責任者 眞秀 宏志

2025年度

第1回中央委員会開催

五月十一日・十二日の両日、中央委員及びオブザーバー等八十四名の参加のもと、二〇二五年度第一回中央委員会が東京都港区のチサンホテル浜松町にて開催された。

初日は中央委員会に先立ち、部会（組織・教宣・調査・女性部）、並びに専門部会（病院・血液センター・病院看護部・ナースエイド会）が開催され、今年度活動方針の審議や情報交換がおこなわれた。

翌日の中央委員会は、中十四日実施の大会にて解散中央委員全二十七名の出席で成立が確認された後、議長に梶谷充氏（三原日赤）、副議長に松永佑哉氏（名古屋第一）、書記に清水雄介氏（足利日赤）が選出され、議題である二〇二五年度ベースアップや期末手当、その他、本部より提議された議案の審議等がおこなわれた。

最初に、二〇二五年度の中央執行委員長に任命・承認された佐藤由峰氏について、出身単組である福島赤十字病院職員組合が三月二

報告事項

一、各部報告

前日開催された各部会の報告がおこなわれた。

【組織部】

二〇二五年三月三十一日付で、福島日赤、滋賀血セ、京都血セが解散により日赤新労から脱退となり、特に第二ブロックの組合員数の減少が著しく、中央委員定数も二名から一名となった。新規組合員の獲得・単

【教宣部】

組合宣伝用レラの作成・配布（三月二十四日・連絡第二〇一四号）

●本部より、新たな宣伝レラ作成を目的として、今年度はパンフレットもサンプル作成し、配布をおこなった。今後、デザインのア

【調査部】

二〇二四年度の調査事項内容に基づき、二〇二五年度調査事項の追加・削除事項の検討がおこなわれた。

「資格手当」「有給休暇の取得状況」「介護休暇・子の看護休暇の取得」「看護職員処遇改善評価料」「各俸給グレードの割合」「定年退職・定年以外の退職」「薬剤師手当等について、修正提案や追加事項の提案が挙がり、それぞれの提案について本部内で協議の上、作成していくことで承認された。

【女性部】

今年度も女性特有の問題提起が多く、ジェンダー部への部会名変更については次回以降の議題を加味して継続検討とした。特に今年度の議題としては、事務・コメディカルといった女性の少ない部署における昇進等での差別問題をメインに取り組むことが決定された。また、現状、各単組で女性部会に出席の女性一名につき支給されている旅費について、次年度以降は、

【病院部】

医療施設全体での意見交換がおこなわれた後、各専門職種に分かれて問題点について協議した結果、昨年に引き続き、慢性的な人員不足を上げた職種が多くあった。また特殊勤務手当やオンコール対応に対する手当については施設間で内容にバラツキがあること等が挙げられ、これらの内容をもとに今年度の医療事業推進本部との労使協議会に臨むこととした。

【病院看護部】

ブロック代表看護師・ナースエイドの確認後、今年度の労使協議会の議題について協議がおこなわれた。基本的には昨年同様①有給休暇・退職時年休の取得について②負担のかかっている働き方について③その他（勤務評定について）を議題とし、七月十二日開催の第二回病院看護部会まで

【血液センター部】

血液センター関係各所の新改築進捗状況の情報が共有された。また、血液事業本部労使協議会の協議内容について意見交換・協議がおこなわれ、移動採血業務に係る長時間勤務、製造所

【ナースエイド会】

昨年同様に、ナースエイドを取り巻く現状を訴え、人員確保や処遇改善等について要望を上げていく方針が決定された。また、第一

二〇二五年度夏期期末手当統一要求額 二・三か月プラス一律三万円

五月十二日（月）第一回中央委員会終了後の午後一時三十分より、二〇二五年度第四回団体交渉が開催され、日赤新労は先の第一回中央委員会にて意見集約をおこなった結果を受け、期末手当の基本額（法人業績

理由により二〇二五年度の基本額支給月数について三・〇〇月で合意をいただきたい。」と回答した。

【統一要求額】
二・三か月十一律三万円
二〇二五年五月二十三日（金）

【統一要求額】
二・三か月十一律三万円
二〇二五年五月二十三日（金）

【統一要求額】
二・三か月十一律三万円
二〇二五年五月二十三日（金）

【統一要求額】
二・三か月十一律三万円
二〇二五年五月二十三日（金）

【統一要求額】
二・三か月十一律三万円
二〇二五年五月二十三日（金）

【統一要求額】
二・三か月十一律三万円
二〇二五年五月二十三日（金）

単組新任役員研修会

2025年6月28日(土)～29日(日)

宮城県仙台市宮城野区榴岡

5-11-1

「仙台サンプラザホテル」



各単組で女性部会に出席した二名に、性別を問わず支給することが承認された。

二、専門部会報告

前日開催された専門部会の報告がおこなわれた。

のさらなる集約、定員制の見直しと適正な人員配置、各種責任者手当の新設等が挙げられた。その他、献血者確保のための工夫等について積極的な意見交換がおこなわれた。

三、一般経過報告

眞秀中央書記長より一般経過報告が読み上げられ、第六十四回定期全国大会で承認された要求書の内容および二〇二五年度ベースアップと遡及、期末手当の基

審議事項

一、二〇二五年度ベースアップについて

第一回ブロック会議での審議結果が報告され、第六十四回定期全国大会の決定どおり定昇込み五・〇%（一万九千四百円）で承認された。

二、期末手当（基本額）について

本社回答三・〇月に対

【2面へ続く】

